



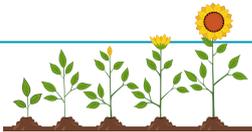
会派の来年度予算要望書を 市長へ提出しました！

日本維新の会横浜市議員団は、当会派の基本理念に基づき、令和7年度予算編成に対する政策提言として、10月29日に横浜市長へ要望書を手渡し、副市長4名も同席の上、談話の時間をもちました。今号では、提案した5つの柱【1. 成長戦略 2. 市政改革 3. 次世代への投資 4. 持続可能で強靱な都市づくり 5. 医療・福祉等の住民サービスの充実】における目指す方向性をお伝えします。



詳細はこちら

1 成長戦略



横浜市が直面する人口減少やグローバル化などの課題に対応するため、持続可能な発展を目指します。具体策として、地方自治制度の改革や産業振興、観光推進、交通網の整備、環境保全を強化。特に横浜港の国際競争力向上や中小企業・スタートアップ支援を推進します。また、インバウンド観光やナイトタイムエコノミーの活性化を図り、横浜を世界に誇る魅力ある都市へ成長させます。また、50年後の人口推計も踏まえ、住民自治の強化と地域ニーズへの迅速な対応のため、各区により多くの財源と権限を付与し、地域に根ざした政策立案と実行を目指します。

2 市政改革

財政難や人口減少に対応し、効率的で透明性の高い行政運営を実現します。DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や人事評価制度の見直し、外郭団体の再編など、行政の無駄を省き、市民サービスを向上させるための取り組みを実施。財政健全化に向けた行財政改革を断行し、持続可能な市政運営を目指します。



PROFILE

柏原傑（かしわばらすぐる）

1985年生まれ、広島出身、鶴見区寺谷在住妻と小学生2人、幼児の5人家族

公立小中高を経て、千葉大学工学部卒

民間企業を経て、2023年より横浜市議員

脱炭素・GREEN×EXPO推進・みどり環境・資源循環委員会 / 郊外部再生・活性化特別委員会 委員

3 次世代への投資



教育無償化や出産費用の無償化を柱に、次世代を担う子どもたちへの支援を充実させます。保育施設の拡充、教育現場の働き方改革、子どもの貧困対策を進め、教育機会の平等を実現。また、保育士や学童指導員の待遇改善や、横浜市独自の出産支援を推進し、少子化や教育格差の課題に対応します。

4 持続可能で強靱な都市づくり

自然災害や気候変動に対応した総合的な防災・環境政策を展開します。沿岸部の高潮対策や地域特性に応じた地震火災対策を強化し、グリーンインフラを整備。脱炭素社会への移行を推進し、再生可能エネルギーや省エネ施策を拡充。地域防災力の向上や災害時の備えを市民とともに進めます。

5 医療・福祉等の住民サービスの充実

高齢化や労働力不足、健康格差に対応し、すべての市民が安心して暮らせる社会を目指します。遠隔医療やデジタル技術の導入、介護制度の改善、エッセンシャルワーカーの待遇改善を実施。また、ペット対策の推進や障害者支援を強化し、多文化共生や地域医療連携を進めることで、誰もが暮らしやすい横浜を実現します。



横浜市職員の給与条例の改正が可決。 市長や議員のボーナスまで一緒にUPします！



11月29日本会議において採決された給与条例改正案について、維新会派は昨年度と同条例改正案と同様に市長や議員等の特別職のボーナスUPは理解が得られないとの見解から反対しましたが、賛成多数で可決しました。これにより、条例が連動しているために、右表の通り特別職の期末手当もUPします（柏原は増えた手取り相当額を被災地へ寄付しました）。なぜ政治家も一緒に上がるのか？についてはブログで解説しています。（二次元コードから）なお、今回の改正によって増える予算は130億円規模です。今後も詳らかに伝えていきます。

特別職	現状				改定後		差分
	月額報酬	職務段階別加算	基礎額	年間ボーナス	年間ボーナス		
市長	1,599,000	1.2	1,918,800	4.5 ヵ月	8,634,600	8,826,480	191,880
副市長	1,285,000	1.2	1,542,000		6,939,000	7,093,200	154,200
議長	1,179,000	1.2	1,414,800		6,366,600	6,508,080	141,480
議員	953,000	1.2	1,143,600		5,146,200	5,260,560	114,360



鶴見区はもっと良くなる？ まちのコンセプトを描きたい



横浜市都市計画マスタープランの改定が進められており、素案に対する意見募集が終わりました。今後は、18区別や地区別のプランが計画されますが、鶴見区においても街の価値を一層上げていくためのビジョンやコンセプトが不可欠だと考えます。

そこで、3月の都市整備局の予算審査では、「人の心を動かす」ような未来を描いたエリアコンセプトが必要だと提言し、「特色ある都市空間をデザインすることで、人の心を動かす風景を生み出しながら横浜のブランド力を高め、市民の皆様や多くの来街者の感動を呼ぶ都市づくりを進めていきたい」との平原副市長の答弁を得ています。

今回、鶴見区では豊岡町複合施設計画により、鶴見図書館が現在の3倍規模に生まれ変わるなどの鶴見駅周辺での変化に加えて、京浜臨海部における研究開発拠点の集積や脱炭素分野の投資、規制緩和による宿泊施設の立地など、地の利のある鶴見にはポテンシャルが大いにあります。

とはいえ、矢向駅や生麦駅の交通課題、公共交通などの足や外出時の安全の確保、空き家や木造密集地など地域それぞれ課題があります。今後もこれらを前に進めるために尽力して参ります。

議員の使い方を紹介します！

今回、地域のご意見をきっかけに弁天町交差点の路面標示が実現し、一目で各車線の方面が分かりやすくなりました！鶴見警察署にも相談の上、鶴見土木事務所にて対応いただいています。道路に限らず、身近な「おかしい」「不便」を少しでも良くするために、誰もが使えるツールなのが議員です。柏原は050-3637-5722にて直通で繋がります。なお、横浜市では公式LINEから道路損傷通報システムも使えます。



今後の議会予定は？

第4回定例会は11月22日～12月19日まで。給与改定議案や補正予算、条例改正、契約議案等を審議します。1月末からは来年度予算の審議を行います。



ご意見やご質問を随時受け付けております。公式LINEの「問い合わせ」よりお願いいたします。

